

安全・安心まちづくりNEWS 第128号



自分を守ることの大切さ

新しい年度がはじまり学校や家庭において、あわただしくしていた日々もだいぶん落ち着いてきました。今一度、子供と一緒に、考えていただきたいことがあります。

他県において小学女児が殺害された事件を受け、多くの方が衝撃や不安や憤りを覚えました。子供たちにはどう教え、大人たちは何をしなければならないのでしょうか？

「知らない人には
ついて行かない」
だけでなく！

子供たちには、「知っている人でもついて行かない」と教えましょう。

ただ「周りの人はすべて悪い人ではないこと」も伝えなければなりません。周りには助けてくれる人もたくさんいます。

「見極める力」をつける

相手の顔をしっかり見る。

相手が何を考えているのか汲み取ろう。

話をよく聞く。

話に違和感がないか？

態度の変化を見逃さない。

笑顔で近寄ってきても高圧的な態度に変わる。脅される。

まわりの状況も考える。

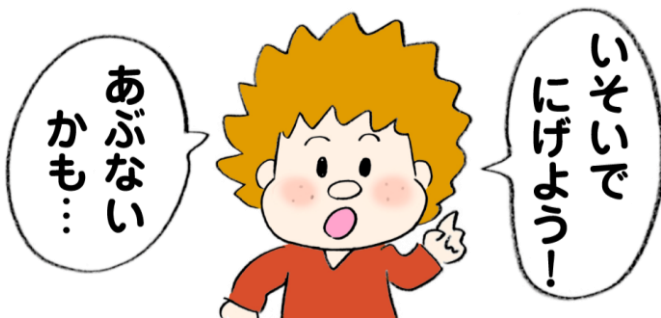
まわりに人がいないところで声をかけられる。遅い時間帯に近づいてくる。

少しでも「おかしい、危ない」と感じたなら自分のその直感を信じて逃げよう。

子供たちに身につけてほしい力

「あぶない!」^{かも}と かんじる力 (危険予測)

「あぶない!」から はなれる力 (危険回避)



この事件を受け、防犯ボランティアの活動が停滞したり疑惑の目が向いたりするのは本末転倒です。

「子供は地域の宝」「子供の笑顔がうれしい」その思いがエネルギーとなっている活動にこれからも変わらぬ敬意と協力をお願い致します。

